

GOVERNOR'S

Rotary
District 2530

イマジン
ロータリー

MONTHLY LETTER 3

Rotary International District 2530 Vol.9

ガバナー月信 2023年 / 3月号 2023



喜多方市 下柴彼岸獅子舞

CONTENTS ガバナー月信 2023年3月号

ガバナーメッセージ……………	2	いわき分区 IM 開催報告……………	12	マスコミトップインタビュー……………	15
国際協議会参加報告……………	3	2022年度 米山記念奨学生終了式開催報告…	12	新会員紹介……………	16
2023-24年度派遣第2回青少年交換派遣学生オリエンテーション開催報告…	4	国際ロータリー第2790地区(千葉県)		1月会員数報告……………	17
後期地区委員会総会報告……………	4~9	RLI PART I 参加報告……………	13	職業奉仕委員会・ロータリー国際大会 2023 …	18
いわき内郷ロータリークラブ60周年式典開催報告 …	10	第6回諮問委員会……………	14	公共イメージQRコード……………	18
船引中 IAC・米山奨学生との交流会開催報告 …	11	第3回次期ガバナー補佐候補者研修開催報告 …	14		

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度 ガバナー 佐藤 正道

ガバナー事務所 〒966-0092 福島県喜多方市字清水台2-92 (南)中野商店2F
TEL: 0241-23-6016 FAX: 0241-23-6026 E-mail: 22-23sato@ri2530.com

地区事務所 〒963-8831 福島県郡山市七ツ池町 26-3
TEL: 024-954-6755 FAX: 024-954-6615 E-mail: chikujimusyo@ri2530.com

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2530 地区
2022-23 年度ガバナー

佐藤 正道
(喜多方RC)

今年度も残すところ4ヶ月、3分の1となりました。次年度へ向けた組織づくりや活動計画策定も進められ、現年度・新年度体制が入り乱れて、ロータリーの一番慌ただしい時期を迎えようとしています。単年度制のロータリーではありますが、現年度の会長は、是非とも今年度の成果と反省を次年度へ繋げていただきたいと思います。今年度はコロナ禍の中で果敢に挑んだ年度と思いますが、この5月にはコロナに対する国の方針も変わることから、より一層活動範囲が広がるとともに、会員皆さんのクラブに対する期待も大きくなることでしょう。次年度のリーダーの皆さんは、その期待を裏切ることなく素晴らしい計画を練っていただきたいと思います。

世界に目を向けると、昨年2月24日にロシア軍によるウクライナ侵攻が始まってから1年が過ぎ、未だ終結の見えない戦いが続いています。そして2月6日にはトルコ・シリア大地震が発生しました。亡くなった方は4万人を超え、東日本大震災の2倍以上の方が犠牲になっています。

トルコは親日国家であり、そのきっかけとなったのはご存知の方も多いと思いますが、「エルトゥールル号遭難事件」です。1887年。オスマン帝国から日本へ向けて派遣された船が、和歌山県の串本町の沖合で沈没した際に、献身的に捜索や救助、介抱を行った日本人に、オスマン帝国が感銘を受けたことがきっかけでし

た。そして、1985年イランイラク戦争のさなかイラク軍によるイラン国内上空の航空機攻撃宣言をうけて、イラン国内の外国人が自国機により帰国する中、日本人だけが空港に取り残された際、トルコ政府は自国民を陸路で脱出させ、日本人をトルコ航空の旅客機で日本へ送り届けたのです。この感動的な計らいに、当時のトルコ政府は、「エルトゥールル号の借りを返しただけです。」と答えたそうです。私事で恐縮ですが、まだイランイラク戦争が続く中、この2年後に私は石油プラント建設のためにイラク勤務となり、1年間滞在していましたので、戦争の悲惨な状況を垣間見ることが出来ました。そして東日本大震災でも多大な支援をトルコよりいただきました。

この度の地震に対し、ロータリー財団では、災害救援基金を優先的に支援へまわすよう対応していますが、先日現地のロータリー地区より直接支援依頼がきましたので、当地区ではガバナー会を通して直接先方の口座へ義援金を送金したいと思っています。皆様の温かいご支援よろしく願いいたします。

悲しい話題ばかりが続きますが、皆様にもお知らせしました通り、去る2月1日に、味戸道雄パストガバナーがご逝去されました。17日に行われました偲ぶ会へ、多くのロータリアンの皆さんにご参列いただき、誠にありがとうございました。昨年、クラブ例会には度々ご出席されておられたと、お元気な様子をお聞きしていただけない、誠に残念でなりません。偲ぶ会へは、長らく親交のあったフィリピンからもご来訪があり、またご自宅の仏前には茶道裏千家大宗匠・千玄室元RI理事の献花が捧げられており、味戸道雄様の幅広い交際に感銘いたしました。謹んでお悔やみ申し上げます。

国際協議会参加報告 1月9日～1月12日



2022-23年度ガバナーエレクト
右近 八郎
 (福島RC)

去る2023年1月9日(月)から12日(木)の4日間、米国フロリダ州オーランド市のローゼン・シングル・クリークホテルにて、2023年国際協議会が開催され参加しましたのでご報告します。

国際協議会は全世界のガバナーエレクトを招集して行われる研修で、その歴史は長く、第一回は1919年にシカゴにて地区ガバナー国際会議として開催されました。昨年(2022年)と一昨年(2021年)はオンラインでの開催であり、今回は3年振りの通常開催となりました。日本からはガバナーエレクト32名(2名欠席)が参加しました。

国際協議会入口には、1949年から2013年まで“Enter to Learn, Go Forth to Serve”(「入って学び、出でて奉仕せよ」)というスローガンが掲げられ、人口に膾炙されていましたが、2014年から2020年は“Join leaders, Exchange ideas, Take action”というやや集団的なニュアンスのものへと変更されました。2度のオンライン会議をはさみ、今回は写真(上)のようにスローガンはなく一般的な歓迎の横断幕となっていました。

会議は本会議(全員)7回と個別会議(15名程度)9回の繰り返しで4日間行われました。研修内容は討論ではなくセミナーであり、ロータリーのビジョン声明と行動計画(4つの優先事項)に沿った最新のRI情報の提供と関連情報の収集・共有でした。

本会議冒頭でゴードン・マッキナリーRI会長エレクトのテーマ講演があり、これまでの方針である、

1. ローターアクトの地位向上、
 2. 女児のエンパワーメント、
 3. DEIの促進、
 4. ポリオ根絶、
 5. ローター行動計画の実践、
- の堅持に言及したあとに、「平和の推進」と

「メンタルヘルスへの取り組み」の2点を強調されました。2023-24年のRIテーマは、

“CREATE HOPE in the WORLD”「世界に希望を生み出そう」

となりました。また7回行われた全体会議では、ゴードンRI会長エレクトに加えて、ジェニファー・ジョーンズRI会長、バリー・ラシン財団管理委員長エレクト、ジョン・ヒューコRI事務総長兼CEO、ステファニー・アーチックRI会長ノミニーなどの幹部の講演もありました。

国際会議の4日間は、昼間は本会議と分科会による研修が続き、夜は前夜祭を含めて4回の形を変えた晩餐会が開催され、朝の散歩に前向きな参加者以外は、外気を吸う機会もない毎日でした。9回の分科会の中で数回、日本人以外のエレクトが参加し同時通訳による研修が行われました。また朝と昼の食事会場は全て自由席の大会場であり、国際交流の場となっていました。

国際協議会が終わると、諮問委員会や三大研修セミナー(地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会)に向けて、実質的なガバナー年度が始まります。ロータリアンの皆様の変わらぬご理解、ご支援をお願いしまして、国際協議会参加報告とさせていただきます。



2023-24年度派遣 第2回青少年交換派遣学生オリエンテーション開催報告 1月8日



青少年交換委員会
委員長 原 田 康 博
(いわき平東RC)

去る1月8日(日)郡山の地区事務所にて開催いたしましたことを報告いたします。佐藤正道ガバナー、大木和彦青少年奉仕委員長、青少年交換委員(原田、細川、松永、渡辺)4名、そして5名の派遣候補生の出席により行うことができました。ガバナーより派遣候補生たちに「この申請書作成にあたっては、だれにも頼らず必ず自分自身が作成し、手配して完成させその内容を十分に把握するが、留学した際に自信を持って対応していけるようになりますよ。」という激励のお言葉をいただきました。

今回のオリエンテーションは、生徒各自がパソコンを使用して、提出してきた申請書(アプリケーションフォームの各セクション)の記入

漏れ、記入違い等の細かいチェックを行い、その中でも医師、歯科医師、生徒の通う学校等からいただく書類の作成のヒントを付け先方に以てして書類を作成していただき、全てのセクションの原本を完成させた上で私達青少年交換委員会に郵送してくれるよう指導研修致しました。

尚、最終的に送られてきた書類の内容をチェックしたうえで、候補生各自の申請書をスキャンにてPDFファイルを作成して、派遣相手地区との交換交渉を実施する予定になっております。



後期地区委員会総会「地区研修委員会」報告 1月21日



地区研修委員会
委員長 石 黒 秀 司
(郡山RC)

前期の反省

2022年7月18日(月・祭)にRI2800地区 鈴木一作パストガバナーを講師に迎え、「今こそ大切な Guy Gundaker のロータリー観」のテーマにて約130名の出席のもと研修委員会セミナーを開催した。ロータリーの原点の再確認からロータリーの魅力の深堀、さらに魅力を体感したクラブリーダーが、それぞれのことばで、ロータリーの魅力を発信する行動に繋げる動機付けになるセミナーとして位置づけた。講演を受けて、参加者が12グループに分かれ「講演を受けて感じた事、学んだ事」「学びをどう行動に移すか」のテーマで意見交換を行い、代表者より感想の発表をした。

後期の計画

2023年3月11日(土)にRI2770地区

PGで、ARCの中里公造氏を講師にCLPを深堀するセミナーを開催する。「CLPは、クラブ組織と活動の簡略化」と捉えているクラブも多いようだし、CLPということばも過去のものとなっている。会員の維持と新会員の勧誘を積極的に図り、クラブを更に発展させる為、クラブ自体の魅力ある生き生きしたクラブへの方策を模索したい。対象者は、クラブ会長エレクト、次期幹事とする。

セミナーの在り方

セミナー開催の為のセミナーではなく、セミナーは、開催終了が、スタートとなる。参加者が気づいた事、学んだことをどう、形にしていくなかが、今後の大きな課題になっていく。ロータリーの原点を再確認し、それぞれのクラブの魅力を如何に最大限にするか?その方向性、プロセス、結果を追いかける。地区リーダー、地区委員会、クラブリーダーが「今、できることを今やる」ことが、必要だと考える。その小さな一歩が、次なる大きな一歩に繋がる。

後期地区委員会総会「地区・クラブ規定委員会」報告 1月21日



地区・クラブ規定委員会
委員長 芳賀 裕
(福島中央RC)

前期の大きな活動は、地区内全クラブを対象とする「委員会セミナー」の開催でした。2022年7月1日より「地区運営規定」が改正されとことを機に各クラブリーダーに内容をご理解いただき、ご意見を伺う趣旨で当初8月7日に「委員会セミナー」を予定いたしました。ところが、コロナの感染拡大状況から延期のやむなきに至りました。その後、2022年4月に開催されたRI規定審議会の結果の邦訳が「2022年手続要覧」として8月末に公表されたこともあり、上記と合わせ「RI組織規定（RI定款、細則、標準RC定款）と推奨RC細則」に関してもご

理解をいただくセミナーを2022年11月27日（日）13時30分より16時30分まで福島県男女共生センター（二本松市）にて開催いたしました。

セミナーにおいては、当委員会の説明に続き分区ごとにディスカッションを行っていただき、あらためてこれら規定への関心を深めていただいたものと思います。

後期の活動としては、各クラブで定款・細則の改正手続きを迅速にお進めいただくよう働きかけることと、皆様からお寄せいただいた「地区運営規定」の修正意見等を踏まえ、ガバナー、ガバナーエレクト等が次年度に向けて検討すべき前提資料を整える作業を行う予定です。

後期地区委員会総会「RLI委員会」報告 1月21日



RLI委員会
委員長 佐藤 栄朗
(会津若松西RC)

次年度の右近年度になりますが、7月15日（土）RLI第6期パートIが開催されます。今年度よりガバナー補佐さんは、RLI受講が必須条件になりましたので、次々年度の早川年度2024-25年度ガバナー補佐予定者の皆さんに、受講できます様に取り計らい宜しくお願い致します。RLIの理念は、RLIの研修を通じてロータリークラブを活性化することです。RLIを受講して、一般的なロータリーを理解する事により、ロータリーを好きになり、ロータリーへのモチベーションを高めてくれます。活動意欲のある会員が増えればクラブが活性化します。そのことにより退会防止、新会員勧誘にも繋がる

事になります。RLIは、それを目指して活動しています。RLIは今年度5期目になります。初めて年度内前期で、パートI、パートII、パートIIIを終了する事が出来ました。ですが、まだまだDLの方々が少なく、参加していただいているDLの方々に大変負担をかけています。RLIを卒業している方よりもっと積極的にDLの募集をかけていきたいと思っております。また受講者の方より、5期目になるのですが「RLIを知らなかった」との話が出ました。募集の仕方に問題があったのかもしれませんが、今後RLIの募集の仕方を運営チーム内で、検討していきたいと思っております。後期の予定は、今年度は初めて卒後コースを4月1日（土）に開催の予定で進めています。RLIを卒業している方が受講対象になりますが、今まで100名以上の方が卒業していますので多くの参加者を募集していきたいと思っております。以上ありがとうございました。

後期地区委員会総会「会員増強拡大・DEI委員会」報告 1月21日



会員増強拡大・DEI委員会
委員長 福 舂 透
(郡山南RC)

会員増強拡大・DEI委員会は「会員増強拡大とDEI委員会の研鑽・浸透」に向かって邁進する。地区委員会は、各分区ガバナー補佐、会長・幹事・会員増強・DEI委員長に積極的に協力、支援し、会員増強の目標達成の為に会員増強拡大・DEI委員会セミナーを開催し、又、地区内の63クラブを委員会委員が分担して訪問をして会員増強の目標を達成するようお願いする卓話、メーキャップ活動をして参りました。

又、12月15日(木)に郡山市におきまして会員増強拡大・DEI委員会の前半期の活動報告と後期に向かっての行動確認の委員会を開催いたしました。

新会員は8月迄に55名、9月には16名、10月は12名、11月は9名、12月末迄には13名の新会員を迎え、合計105名の会員増強を達成致しました。

年度当初の地区の会員数は2,171名で12月末日の会員数が2,233名の会員数で、63名の純増となりましたが、残念ながら43名の退会者を出してしまいました。12月末と3月末及び6月末の退会者が増えるので退会防止に努める事と、後半期も目標達成に引き続き地区内63クラブに会員増強拡大の協力をお願いに参るように会員増強拡大・DEI委員会各委員が決意致しました。

DEI委員会は3月17日(金)に地区事務所にて「DEIなロータリー」と題してシンポジウム形式でパネリストを招き、Zoomによるオンラインセミナーを開催する事を決議致しました。

後期地区委員会総会「公共イメージ・IT委員会」報告 1月21日



公共イメージ・IT委員会
委員長 町 田 晃
(郡山南RC)

公共イメージ委員会、IT委員会の2つの委員会により、公共イメージ、認知度の向上とITの有効活用に向け、クラブを支援することを目的に活動しています。

前期活動

(1)公共イメージ・IT委員会セミナー

2022年7月17日オンライン

第一地域ロータリー公共イメージコーディネーター井原實様のご講演をいただいたのち、公共イメージ編、IT編のグループディスカッションを行ないました。

(2)地区公共イメージホームページのリニューアルとSNSの開設

2530地区ホームページは、ロータリアンへの情報提供を主たる目的とするのに対し、公共イメージホームページは公共への情報発信を主たる目的としています。各クラブのホームページやFacebookの更新を拾い上げ、またクラブからの要請により、随時各クラブの活動を載せています。ロータリーの紹介として女性ロータリーのインタビュー動画やガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニへの突撃インタビューなども載せております。Facebook、Twitter、Instagramを開設し、それぞれの情報がホームページと同期するようにしています。

(3)ポリオ根絶キャンペーン

早川ガバナーノミニ、田久財団委員長と協力して、ポリオ根絶キャンペーン活動を行いました。分区やクラブのご協力をいただき、田久委員長発案による学園祭ジャックの他、街頭募金、ロータリーのセミナーにおける募金を行ないました。寄付金を集めるだけでなく、ロータリーの認知度を向上させるため、紙製のクリアフォルダー、アルコールスプレー、のぼりなどを準備しました。クリアフォルダー、アルコールスプレーについては、今後もご活用いただけますので、ご利用されるクラブや委員会是非お申し付けください。

(4)2021-22年度アクション表彰審査

会報賞、奉仕活動賞、MyRotary賞について厳選なる審査を行ない、地区大会において表彰していただきました。次年度はこれらに加え、デジタル広報賞を追加することを計画しています。これは今年度の活動についての賞ですので、2023年6月時点の各クラブのデジタル広報について審査いたします。

後期予定

(1)マスコミ懇談会 3月10日 ユラックス熱海、オンラインハイブリッド

第一地域公共イメージコーディネーター補佐 寺嶋哲生様の講演をいただいた後、マスコミ7社とロータリアン4名による、パネルディスカッションによる意見交換を行ないました。

今後も各クラブの公共イメージ向上、IT化活動のサポートを行ってまいりますので、ご要望等何なりとお申し付けください。合わせて公共イメージホームページの随時更新、MyRotaryの登録推進、ロータリーのブランディング、他活動を継続的に進めますので皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

後期地区委員会総会「職業奉仕委員会」報告 1月21日



職業奉仕委員会
委員長 齋藤 純一
(会津若松西RC)

今回も職業奉仕の在り方や職業奉仕の実践、地区委員会としての役割について白熱した議論が展開されました。職業奉仕は難しいと言われますが何故なのか？社会奉仕や青少年奉仕に比べ具体的な奉仕活動事例が理解しにくい。職業奉仕は造語であるので意味が分かりにくい。職業奉仕観を述べる方は多いが同じ考え方ではない。例会等で学ぶ機会が意外と少ない等、職業奉仕の理解を難解にしている。また、最大の理由は職業奉仕が、職業人としていかに人生を生きるかと言う厳しい実践倫理・職業倫理であるので、職業奉仕は難しいと言われるのは当然のことではないか。特に日本のロータリアンはこのことに価値と魅力を見出し誇りにさえ感じている。職業奉仕を定義するとすれば「職業奉仕とは、各業界の代

表やリーダーであるロータリアンが例会をはじめロータリー活動を通して自分を磨き、利己と利他の心の調和を図りながら、各々の職業によって職業サービスと職業倫理をもって、顧客の満足を図り永続的顧客創造を行い、関係者である従業員や取引先の教育と高潔性を高め、同業者には職業倫理の大切さや成功ノウハウを伝播し同業のレベルアップに貢献できるように務め、さらには地域社会にも貢献することではないか。

前期事業としては、職業奉仕の実践者であり4つのテストを企業理念にされているハードオフコーポレーション山本善政代表取締役会長を講師にお招きして「わたしにとっての4つのテスト」をテーマに136名の多くの皆様のご参加のもとにセミナーを開催いたしました。また毎月ガバナー月信において委員会メンバーが担当して職業奉仕について寄稿しております。後期事業としては、前期に引き続きふくしま職業宣言の活用方法の模索検討・各クラブでの職業奉仕活動のアンケート調査・DEI委員会等の合同勉強会を開催いたします。

後期地区委員会総会「社会・国際奉仕委員会」報告 1月21日



社会・国際奉仕委員会
委員長 早川 敬介
(郡山北RC)

- 2022年9月17日(土)於：福島県農業総合センター多目的ホールでのセミナーの成果は、地区TRFに対するクラブからの地区補助金申請書情報に関し、①覚書(MOU)の提出が、1月末日締め切り②地区補助金申請書の提出が、3月末日締め切りとなっており、セミナーの成果は「TRF目標45件の申請」状況を見守ります。
- 地区大会2022年11月12日(土)1日目、地区リーダー研修セミナーにおいて、RI D3350の飯田光孝ガバナーの話を受け、3350地区内クラブ(設立年月日・会員数)と友好クラブ締結に関心の有るか否かの情報(佐藤正道 DG よりいただき)をもとに2530地区内クラブに対し、★友好や姉妹クラブの締結に関心のあるクラブがあるかアンケート調査を実施する。期間は、年度後期にとどまることなく次年度に及んでも実施したい。
- 「TRF」と「公共イメージ・IT委員会」と「社会・国際奉仕委員会」とで取り組んだ『ポリオキャンペーン』について、

1. 「学園祭ジャック」と銘打って取り組んだ成果について
2. 地区のセミナーや地区大会においても寄付を募りましたが、その成果について

⇒詳細は、

日時	場所	金額
10月4日	県立医大	16,855
10月9日	RLI パートII	48,750
10月23日	東日本国際大学学園祭ジャック	32,750
10月23日	郡山駅前ポリオ募金	50,988
10月23日	福島駅前ポリオ募金	55,405
10月27日	郡山女子大学学園祭ジャック	5,887
10月29日	職業奉仕セミナー	42,953
10月30日	地区大会記念ゴルフコンペ	39,631
11月5日	RAC秋の大運動会	10,965
11月13日	地区大会	142,941
	合計	447,125

- ★ガバナーの目標にある「DDFの20%をポリオプラス基金へ」に組入れていただく。
- ポリオ根絶推進活動に対する理解に各クラブからの寄付がありますが、「0クラブ」を無くして行きたい。Q: 世界でポリオ患者の発症者は数えるほどしかないのに、何故未だ資金がいるのか？
- ★「ポリオキャンペーン」で使用したクリアファイルに資料「ポリオ根絶推進活動について」を挟んで、AGより各クラブに配布していただく。
- ★地区大会の折に配布した「臓器移植」に関して：登録のマイナンバーカードへの移行状況を鑑みる必要があり、ロータリーとして関わる事ができるか可能性を調査する。

後期地区委員会総会「青少年奉仕委員会」報告 1月21日



青少年奉仕委員会
委員長 大木 和彦
(須賀川RC)

青少年奉仕委員会

2022-23年度 地区青少年奉仕セミナーを10月22日福島県農業総合センターで開催しました。インターアクト委員会・RYLA委員会・青少年交換委員会の発表に加え、ローターアクト委員会・学友委員会の発表を行いました。

また、地区大会においては、青少年会議を2年ぶりに開催しました。米山奨学生・インターアクト・ローターアクト・青少年交換学生が活き活きと活動しておりました。地区大会午後の部では、青少年会議の発表と各事業の紹介を開催しました。

以下、3委員会の報告になります。

(1)インターアクト(Interact)

前期報告

2022年 8月26日 第29回年次大会開催
担当校 県立本宮高等学校
10月 7日 第2回連絡協議会開催
11月13日 第2530地区大会へ参加(青少年会議開催)
12月22日 国際理解研修開催
担当校 県立喜多方桐桜高等学校

後期予定

2023年 5月 第1回連絡協議会開催予定
5～6月 リーダー研修会開催予定 担当校 県立田村高等学校
8月 1日 第2660地区(大阪府)インターアクトクラブと
～8月 3日 の合同研修会

(2)RYLA(Rotary Youth Leadership Awards ローター青少年指導者養成プログラム)

2023年 4月 8日～9日 第41回RYLA研修会(母畑温泉「八幡屋」)

(3)青少年交換(Youth Exchange)

前期報告

7月、8月 青少年交換派遣学生募集ポスター、要項の制作、並びに配布
8月27日午前 青少年奉仕委員会セミナー(地区事務所)
8月27日午後 受入学生オリエンテーション(地区事務所)
8月27日(1泊) サマーキャンプIBS(母畑温泉「八幡屋」)
10月22日午前 青少年交換派遣学生の選考会(地区事務所)
10月22日午後 地区青少年奉仕委員会セミナー(福島県農業総合センター)
11月13日 地区大会 青少年会議(喜多方プラザ)
11月23日 第1回青少年交換派遣学生オリエンテーション(地区事務所)
12月 4日 第10回全国危機管理委員長会議及び青少年交換委員会委員長合同会議
1月 8日 第2回青少年交換派遣学生オリエンテーション(地区事務所)

後期予定

1月21日 地区後期委員会総会
1月22日(1泊) 多地区合同ウィンタースキーキャンプ for IBS(於 蔵王ライザワールド)
2月25日 第3回青少年交換派遣学生オリエンテーション(於 地区事務所)
3月24日 東北多地区合同スプリングキャンプ
～26日(2泊3日) (第2520地区担当)
4月 IBSのための東京研修(オータムキャンプの振り替え)
5月 第4回青少年交換派遣学生オリエンテーション(地区事務所)
6月 全国青少年交換研究会新潟会議(第2560地区担当)
6月 受け入れ学生、派遣学生送別オリエンテーション(地区事務所)

後期地区委員会総会「ローターアクト委員会」報告 1月21日



ローターアクト委員会
委員長 渡辺 浩子
(福島21RC)

前期の活動を振り返り、後期の事業の計画と内容の協議をしました。

また、予算執行状況や後期事業の収支予算などの確認を合わせて行いました。

前期活動

- ①「ともだち100人プロジェクト」の一環として
・スポGOMI大会 in 福島トへの参加→RACの宣伝広報
・喜多方RAC主催「秋の大運動会 in 喜多方」への共催→RACの広報、地域交流

②地区大会「青少年会議」へ参加(ファシリテータ)

後期事業

- ①仙台(第2520地区)・東京池袋豊島東(第2580地区)・静岡(第2620地区)・鴨川(第2790地区)・東京オーキッド世田谷南(第2750地区)・第2530地区 ローターアクトクラブ6地区合同例会「語る、残る、遺す 震災例会」～私たちにできることを考えよう～
日 時：2023年3月11日・12日 1泊2日
開催地：南相馬市・双葉郡浪江町 周辺

参加人数：60～70名(ローターアクター・ロータリアン)

② R財団地区補助金「こどもの日PRプロジェクト」

郡山西RAC主催 地区ローターアクト委員会協力

日 時：2023年5月5日

開催地：開成山公園(予定)

対 象：一般の方へのロータリー、ローターアクト活動の広報・啓蒙
新規メンバー勧誘等

内 容：キッチンカー出店・PRツール配布・ポリア募金活動

③地区年次大会 in 喜多方

日 時：2023年5月6日・7日

開催地：喜多方市内

内容は現在協議中で、3月中に案内送付予定

その他

・第35回全国ローターアクト研修会 in 石川 参加
・喜多方RAC主催「いざ、かまくら」2月26日開催など、後期も事業や行事が多々ありますのでローターアクターとロータリアンとの連携をとりながら、パートナーシップを強化し、次年度につなげていきたいと思っております。



後期地区委員会総会「ロータリー財団委員会」報告 1月21日



ロータリー財団委員会
委員長 田久昌次郎
(いわき平中央RC)

分科会では、平井相談役を含め11名の委員が出席し、2022-23年度前期までの委員会事業の取り組み状況ならびに後期の予定などを説明した上で、委員所属クラブの財団寄付集めの工夫などについて意見交換を行いました。委員所属クラブにあっても、ノルマを決める等強制的な仕組みやクラブ会費に含めるかたちで寄付を募っているケースが多く見受けられました。委員会内で、いま一度、財団寄付は会員の「個人寄付」であり「自由意志」に基づくものであることを共有する分科会となりました。

全体会では、委員長より分科会の内容を踏まえつつ、右近年の地区補助金申請可能額（見込み）や当委員会が抱えている中期的課題を説明いたしました。特に、志賀年度・佐藤年度においては、コロナ禍であったため地区補助金奨学生への応募がなかったこと。加えて、円安のため地区補助金資金が従来よりも増額になっていること。一方で、クラブの個別

プロジェクト数が頭打ちであり、地区補助金資金に余剰が発生していること。21年7月TRFの「新しい補助金モデル」導入により地区活動資金（DDF）の繰越期間は5年間に限定されたことに触れました。

次年度からは、地区補助金プロジェクトのクラブ負担金割合は3年前年次寄付の一人あたり平均額に応じて変動することとし、個別プロジェクト数増を目指します。また、単年度DDFは個別プロジェクト・グローバル補助金等のDDF拠出などに活用し、多額の繰越金を発生させない方針で委員会業務を行って参ります。各クラブにおいても、ご協力・ご理解をいただきますようお願いいたします。



後期地区委員会総会「米山記念奨学会委員会」報告 1月21日



米山記念奨学会委員会
委員長 武島昭良
(相馬RC)

2022年7月から始まり10日（日）に地区事務所継続奨学生のモデル卓話を交えて新奨学生の卓話研修会を実施しました。8月6日（土）カウンセラー研修会。8月21日（日）米山委員長セミナー実施。9月3日（土）米山梅吉翁勉強会。講師に石黒PGの大学の後輩でご主人様がロータリアンであり「米山梅吉ものがたり」の著作者、柴崎由紀先生をお迎えして内容の濃い勉強会を実施しました。10月は、米山月間で米山奨学生をはじめ、我々会員も各RCに出向き卓話を実施しました。11月6日（日）米山奨学生面接官オリエンテーションを実施しました。11月13日（日）地区大会2日目は喜多方プラザ文化センター2Fで米山奨学生は、青少年委員会関係の学生と交流会を持ちました。この結果として船引RCからの要請で船引中学校の生徒

と交流会を実施しました。船引RCと船引中学校に感謝申し上げます。12月11日（日）郡山ビッグアイで2023-24年度の米山奨学生の選考試験を実施しました。終了後に世話クラブ・カウンセラーの募集の文書を地区内全クラブに送付致しました。結果としてまだ5名の奨学生の世話クラブ・カウンセラーが足りていないために後期地区委員会総会時に各委員会の報告の時間に会場の皆様へお願いしました。この後、各ガバナー補佐を通じて再度募集をお願い致します。RLIでパストガバナーに「世話クラブ・カウンセラーがどのようにすれば選ばれるかが不明です。」と言われました。毎年、選考試験が終了後に各クラブに世話クラブ・カウンセラーの募集の文書を発送しています。このやり方については、これからは変わりはありません。再度募集の文書を送付致しますので、ご協力宜しくお願い致します。1月29日（日）に米山奨学生の終了式を実施します。4月23日（日）新年度の米山奨学生歓迎オリエンテーションを実施します。今後とも米山記念奨学会の事業についてのご協力をよろしくお願いし報告といたします。

いわき内郷ロータリークラブ60周年式典開催報告 1月22日



いわき内郷ロータリークラブ
会長 渡邊 邦雄
(いわき内郷RC)

いわき内郷ロータリークラブ創立60周年記念式典を1月22日(日)、佐藤ガバナーをはじめ、内田いわき市長、参議院議員森まさこ様、県議会議員真山祐一様、市議会議長大峯英之様、いわき総合高等学校校長小林寿宣様、いわき平ロータリークラブ会長野沢達也様他、国際ロータリー2530地区のロータリアンの方々計50名にご参加いただき、クレールコートで開催いたしました。

会長の開会点鐘で式典は始まり、御来賓の紹介、参加ロータリー及びインターアクトクラブの紹介、会長挨拶、実行委員長挨拶、そして7名の御来賓より祝辞をいただきました。その後60周年記念事業を発表しました。

①内郷公民館への車椅子の贈呈

②楽しい韓国語教室。国際理解推進のため、市内の小中高へ奨学生が出前授業を行い韓国語に親しむ機会を提供

その後インターアクトクラブの活動報告、支援金の贈呈、記念式典を終了し、講演会に入りました。

記念講演は一般希望者10名様をご招待し、東日本大震災の際に被災したピアノを修復された調律師の遠藤洋氏が「奇跡のピアノ」と言う演題で復興のためにピアノの修復にあたられたお話を頂いたのち、いわき出身のピアニストの長瀬賢弘氏の生演奏をご披露いただきました。生の音楽の迫力を大いに堪能いたしました。

好評ののち講演を終了し、懇親会となりました。ここでも御来賓に御祝辞をいただきました。コロナ禍の懇親会のため、ご希望の方は、料理をお持ち帰れるように致しましたが、多くの方々にご参加頂き、大いに懇親を深めました。

当クラブはいわき平ロータリークラブをスポンサークラブとし1962年に故黒木喜一氏を初代会長としてチャーターメンバー23名で発足いたしました。以来60年にわたり地域に根差した奉仕活動を続けてまいりました。中でもクラブ創立42年目の2004-05度には山崎栄一氏がガバナーに就任いたしました。

内郷ロータリークラブは青少年奉仕に力を入れ、いわき総合高等学校のインターアクトクラブの後援や、地域の中学生の発表の機会を作る新世代会議を実施しております。また神原前会長より始まったe-科学への援助は本年度も実施しております。これは子供たちがさまざまな研究を行い最終的には人工衛星打ち上げる、という壮大な夢の事業です。

以上のように日々地域社会に密着した事業展開を行っておりますが、時代に即した奉仕活動を志向し、事業の見直しを図る機会ととらえ60周年の事業を考えていきたいと会員一同進めてまいりました。これまで以上にロータリー精神を養い70周年80周年と継続し、社会に貢献できるように努力してまいります。



船引中 IAC・米山奨学生との交流会開催報告 1月24日



船引ロータリークラブ
会長 宗 像 伸 二
(船引RC)

令和5年1月24日(火)に船引中学校において船引中IACと米山奨学生との交流会を開催いたしました。この交流会開催に至った経緯は、船引中IAC3名が令和4年11月13日(日)の地区大会へ参加した時、青少年会議で「米山奨学生との交流がとても楽しく感動した」と船引中IAC顧問 久野先生より伺いました。「ぜひ、船引中IAC及び生徒会の生徒たちにも米山奨学生との交流を図らせたい。」との思いを聞き、当クラブ幹事、船引中学校 久野先生、米山記念奨学会学友委員会委員長 小林悦子さんと連絡を取り合い、船引中学校 助川校長先生のご理解も得て実現することになりました。

当日は16時10分から開会式、船引中学校助川校長先生よりご挨拶があり、船引RC会長挨拶、そして米山記念奨学会学友委員会委員長 小林悦子さんよりご挨拶をいただきました。

開会式終了後、校舎3階の各教室にて、船引中IAC・生徒会会長菊地沙雪さんを含む11名と米山奨学生のユディ君【国際情報工科自動車大学校・国際自動車科2年】(インドネシア出身)、ヤダナー・ウーさん【国際ビジネス公務員大学校・国際ホテル観光科2年】(ミャンマー出身)、ラネプラヘーワゲ、ラビィンドウ サンカ ウィジャヤワダナ君【会津大学・コンピュータ情報システム学 修士課程】(スリランカ出身)が参加し交流会を行いました。船引RCからは会長、幹事、会長エレクト、次年度幹事、青少年奉仕委員長、インターアクト委員長が参加いたしました。

はじめに船引中学校生徒会より船引町の紹介で地元の良いところや観光地、田村市の広報誌、紅陵祭(学校祭)でのビックアートや部活動の紹介をしてくださいました。その後お互いの学校行事のことや将来の夢や進路、SDGsについて話し合いをしました。また米山奨学生の方の出身国の紹介では、船引中IACの生徒たちはタブレットで直ぐに検索し、画像を見ながらそれぞれの国の文化や食べ物、民族衣装など日本との違いなどを学びました。生徒たちは眼を輝か

せながら聞き入っていたのが印象的でした。また米山奨学生たちへ、「日本の食べ物は何が好きですか?」、「日本は好きですか?」など質問し、奨学生たちは「母国も好きですが日本が本当に大好きです。」と答えていました。生徒たち、米山奨学生が終始笑顔で対話している姿に、私たち船引RC会員も先生方もほっこりした気持ちになりました。生徒たちは「まだ中学生なのではっきりしたビジョンは言えないですが、世の中のために何かしたい・人の役に立ちたい・留学してみたい」など前向きな立派な将来の夢を話してくれました。話が盛り上がり閉会時間となっても会話が止まらないという状況でした……。今後もっとたくさん米山奨学生と生徒の交流会を開催し、より多くの体験を通してグローバルな社会で活躍できる人材を育てればよいと思います。これが青少年奉仕活動の人づくりだと感じました。さまざまな奉仕活動がありますが、このような体験をした時、ロータリアンで良かったと感じます。この日は雪が降り寒い日でしたが、教室内はみんなの熱気で真夏のような感じでした。船引中学校の助川校長先生・久野先生、米山奨学生のお世話をしてくださった学友委員会委員 チンタカ・クマール ウィジェシンへさん、米山記念奨学会学友会委員長 小林悦子さんのご協力によりこのような交流会を開催でき感謝いたしております。ありがとうございました。



いわき分区 IM 開催報告 1月28日



いわき分区ガバナー補佐
山名 二郎
(いわき平東RC)

いわき分区 IM3年ぶりに開催

1月28日(土)いわき分区分9クラブによるインターシティミーティング(IM)がいわきワシントンホテル椿山荘において、いわき平東RCがホストとなり、3年ぶりに開催されました。

サステナブルなロータリーの発展とポジティブな奉仕を、との思いから、テーマを「つなごう次代へ！笑顔の奉仕！」と題し、分区内140名の会員が一同に会し、ロータリーの情報交換と共有を目的とした会合です。

佐藤正道ガバナーの同席のもと、各クラブが「クラブの活性化策」について、過日各クラブでディスカッション及びアンケート等でまとめた活性化策を発表、さらにガバナーよりご指導をいただきました。

また、市内3つのインターアクトクラブ(IAC)の日頃の活動をそれぞれ発表していただき、発表後、

活動支援金が贈呈されました。

最後の交流会には、内田いわき市長も来場いただき、参加した米山記念奨学生4名も交え、分区分会員にとって3年ぶりのIMとなりました。

また、IMに先立ち午前には、こちらも3年ぶりの新入会員セミナーを開催。地区研修リーダーの石黒秀司PG(郡山RC)、いわき平中央RCの鈴木清友パスト会長を講師に迎え、25名の会員が参加。お二人のロータリアンとしての矜持を聴講され、有意義なセミナーが終了しました。

コロナ禍で3年間中止になっていたプログラムですが、やはりコミュニケーションが大事との実感をした1日となりました。



2022年学度 米山記念奨学生終了式開催報告 1月29日



米山記念奨学会学友委員会
委員長 **小林悦子**
(郡山アーバンRC)

去る1月29日(日)郡山ビューホテルアネックスに於いて【国際ロータリー第2530地区2022学年度米山記念奨学生終了式】が開催されました。

佐藤正道ガバナーの開会点鐘から始まりご挨拶をいただき、平井義郎パストガバナー、石黒秀司パストガバナー、ご来賓の東日本国際大学学長の中山哲志様からもご祝辞を賜り、チンタカ・クマラ米山学友会会長からは会についてご教示頂き4月からの入会予定となりました。

その後、奨学生に終了証と記念品、カウンセラーには感謝状が授与されました。

- ・米山奨学生だったことを誇りにこれからもがんばっていきます
- ・想像もしていなかった素晴らしい経験を沢山させてもらって感謝している
- ・ロータリアンの会社に就職が決まってとても感謝している
- ・卒業して県外に就職するがサポート出来ることがあればいつでも声をかけて欲しい

- ・笑って、話して、時には泣いて、いつもロータリアンは寄り添ってくれた
- ・奨学生の一言で一気に距離が縮まり米山の素晴らしさを体験した
- ・会話だけでなく卓話やレポートの原稿チェックでも日本語の表現を覚えてもらった
- ・など、奨学生・カウンセラーからの感想(一部抜粋)がありました。

昼食会も兼ねた今回の終了式は今期最初で最後の本格的な交流の場となり奨学生もとても嬉しそうでした。名残惜しい気持ちの中、武島委員長のご挨拶を頂き最後に笑顔いっぱいの記念撮影を行い終了となりました。

皆々様のサポートのおかげで無事に終了式を迎えることが出来ましたこと心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



国際ロータリー第2790地区(千葉県) RLI PART I 参加報告 2月4日



RLI 委員会
DL 町田 晃
(郡山南RC)

2023年2月4日(土)国際ロータリー第2790地区(千葉県)のRLI PART 1に受講生として参加しました。あらためてロータリーを学び、またRLI歴14年の地区のRLI運営方法やDLのスキルを学ぶ貴重な機会となりました。

2790地区RLI実行委員会の方々には、開催案内から登録申込みまで大変お世話になり、また当日も皆様から大いに歓迎していただきました。クラブを超え、さらには地区を超え、交流し、知り合いが増えることは、ロータリーの醍醐味であり大きな財産となります。

今回はいつもに比べ出席者が少ないとのことを受講参加者は32名ほど、私を含め3名が他地区からの参加でした。それに対し実行委員会の参加者が40名近くで、各セッションにおいても参加者より多い人数が在室していました。実行委員会の方はおそらく全員がDLで、パストガバナーの方も少なくとも3名いらっしゃいました。当日出番のないDLも多数いますが、役割を分担し全員が運営に当たっていました。

登録されているDLは100名以上、さすがRLI歴14年の地区と感心した次第です。

当日は10時開始、各セッション50分で午前中2セッション、午後4セッションでした。1時限の開始時のみ、アイスブレイクタイムとして10分設けられています。「アイスブレイク」とは氷を融かす、即ち参加者の緊張を和らげ、積極的に楽しくディスカッションに参加する雰囲気を作るためのものです。当地区でも取り入れると良いかと思います。

当日配布資料には、RLI参加の心がけ、とマザーテレサの言葉、という参加者の意識を高め

る文章が記載されていることも大いに参考になりました。(長くなるのでここに記載できないのが残念ですが)

私が参加した6つのセッションでは、パストガバナーのベテランDL、中堅ロータリアンのDL、入会数年の若いDL、様々なDLの方が対応されましたが、皆さんのファシリテーションスキルにはただただ感心いたしました。私たちがDLトレーニングで指導を受けてきたことを皆様自然に実施されています。“語るな語らせる”を徹底し、ご自身の考えや意見を主張するようなことはまず有りません。

受講参加者は会長エレクト、幹事他クラブのリーダーの方も何人かいましたが、比較的ロータリー歴が短い方が多かったように思います。皆さん、真摯に考え、積極的に発言されており他の意見も尊重され、とても良い雰囲気のディスカッションになっていたと思います。

2790地区では、卒業生向けにDL養成コースというカリキュラムが用意されており、そのコースを終了した方は、RLI日本支部公認のDL資格が授与されるようです。当地区においての導入検討を佐藤榮郎委員長にご提案しました。

RLIは、楽しくロータリーを学び、考え、さらには他クラブを知り、多くの出会いが得られるところです。ロータリー歴が短い方から、ベテラン会員まで、皆さん是非RLIにご参加くださるようお願い申し上げます。

第6回諮問委員会 2月5日



地区幹事
佐藤 日出夫
(喜多方RC)

2023年2月5日(日) 11:00～13:30に、第6回諮問委員会が地区事務所にて開催されました。(諮問委員15名中9名が出席)

佐藤正道ガバナーのあいさつの後、下記報告事項の報告と諮問が行われました。

・報告事項

- 1、右近ガバナーエレクト国際協議会報告

RI 会長エレクトの横顔
ゴードン・マッキナリー氏 (65 歳)
Gordon R. Mcinally
サウスクイーンズフェリー RC 所属
職業分類 歯科医師
次期 RI テーマ
CREATE HOPE in the WORLD
「世界に希望を生み出そう」

2月26日(日)の地区チーム研修より、次期プログラムがスタートとなりますが、今年度プログラムもまだ残っております。

皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。
以上、報告と致します。

第3回 次期ガバナー補佐候補者研修開催報告 2月18日



次期地区幹事
坪井 大雄
(福島RC)

2月18(土) 福島市のウエディングエルティに於いて「第3回次期ガバナー補佐候補者研修」が開催されました。

今回は、委員長予定者との合同研修として実施され、最終研修となります。

佐藤ガバナー、右近ガバナーエレクト、芳賀次期地区研修リーダーからの挨拶の後、以下のテーマで研修が行われました。

- ①「2023-24年度 RI テーマ・地区目標・方針について」
講師：右近ガバナーエレクト
- ②「ガバナー補佐・地区委員会委員長に期待すること」
講師：芳賀次期地区研修リーダー

右近ガバナーエレクトからは、出席された「国際協議会」の内容を踏まえ、ガバナー補佐や委員長への方針説明がなされました。

また、「ロータリー財団・米山記念奨学会・青少年奉仕・RLIについて」各次期担当委員長から委員会の紹介があり、続いてRLI方式で「RI テーマとロータリーの未来について」をテーマに芳賀次期地区研修リーダーのコーディネートで、意見交換を行いました。

3回の研修を終え、ガバナー補佐候補者の皆様に修了証が右近ガバナーエレクトより授与され、最後

に芳賀次期地区研修リーダーより講評をいただきました。

今後、右近ガバナーエレクト年度においては、「地区チーム研修セミナー」(2月26日)、「会長エレクト研修セミナー(PETS)」(3月4日)、「地区研修・協議会」(5月13日)等が開催され、ガバナー年度への準備が進んでいきます。



メディアの有効活用で拓ける 「周知」「発信」「防災」の道

NHK

NHK福島放送局

前局長 半沢 治久 氏

所属：福島ロータリークラブ

プロフィール

1962年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、87年日本放送協会に入局。主に経営管理業務に従事、大阪放送局副局長を経て、2020年福島放送局長に就任。



各RCが手を携えることが
広い周知へつながる

福島ロータリークラブ（以下、RC）に入会する前に大阪でキワニスに所属していました。キワニスも「自分たちの住んでいる地域をよくしよう」という考えのもと活動している奉仕団体なので、福島RCに入会することにはなんの抵抗もありませんでした。

会員も医者や弁護士、建築家、会社の代表など、さまざまな立場の方々が入会されていて、なかには私が子どもの頃にお世話になったお医者さまや高校の同級生など、かつて知った顔ぶれもいらして、すっと仲間に入れたと思います。

皆さんご存知の通り、RCの活動は大小に関わらず絶えず行われています。しかしいかんせん「発信力」が弱いために知っていただけの機会が少ない。私も福島出身ですが、これまで転動した大阪や名古屋、広島の方々と比べて、やっぱり大人しいんです。テレビやラジオ、新聞といった地域に根ざした媒体をもっと利用すべきだと思います。各RC単位の小さな点を拾い集めるようにするのはなく、例えば各地域にあるRCと連

携して大きなイベントを開催し報じてもらうなど、クラブ自体もならんかの工夫が必要なのではないでしょうか。

「県民の命を守る」ことも メディアの重要な役割

弊社をはじめとする放送各社は「県民の命と暮らしを守る」という使命を持っています。出水期を前に現在力を入れているのは、県内のハザードマップ情報の周知です。

近年、地震だけではなく台風や大雨による水害で甚大な被害が出ています。川の氾濫で命が失われる悲しい出来事も起こっています。私たち県民は日々、そうした恐ろしい災害と隣り合わせで生活しているにも関わらず防災意識が低いままではいけません。

そこで、県内ラジオ3局で、水害の「ハザードマップ」をもっと知ってもらうことをテーマにラジオ放送を開始しました。5分から10分程度の番組で、県内ラジオ3局が防災のインタビュー素材を共同で制作・放送しています。

この放送で「ハザードマップ」に関心を持っていただき、少しでも多くの皆さんにお住まいの地域にどんな災害の危険があるのかを

チェックして役立ててもらいたいと思います。自分の身は自分で守るために、放送で得た知識を防災や災害時に生かしていただければ幸いです。

強みを生かした方法で 福島の魅力を発信する

福島が抱える課題は廃炉や処理水による風評被害だけではありません。人口減少も大きな課題です。もともと200万人以上いた人口が、いまでは180万人を切ってしまいました。自然減はしょうがないとしても社会減は食い止めることができるはず。さらにいえば福島に行ってみたく、興味がある、何か役に立ちたいと思っている関係人口は日本一。そういった人たちに「福島のおよさ」というものを知ってもらわなければいけません。

弊社でも浜・中・会津の魅力が詰まった良質の番組をつくり、ローカルはもちろん、東北管内そして全国へ向けて放送ができるよう、がんばっていかなければいけないと思っています。

私たちが暮らすふるさと福島を豊かにしていく。それがRCの役割であり、私たちメディアの使命だと感じています。

新会員紹介

● 県北第一分区 福島 RC
佐藤 永之 さとう ながゆき
 ● 入会日 2023年1月19日
 ● 職業分類 段ボールケース製造
 ● 勤務先 株式会社 福永

● 県北第一分区 福島南 RC
植松みち子 うえまつ みちこ
 ● 入会日 2023年1月4日
 ● 職業分類 保健師
 ● 勤務先 (株) みち

● 県北第一分区 福島中央 RC
小林 潤子 こばやし じゅんこ
 ● 入会日 2023年1月18日
 ● 職業分類 不動産業
 ● 勤務先 有限会社 アーバンプラン

● 会津分区 喜多方 RC
渡部 忠寛 わたなべ ただひろ
 ● 入会日 2023年1月31日
 ● 職業分類 介護サービス業
 ● 勤務先 通所介護ひなたぼっこ

● 会津分区 会津若松南 RC
阿部 和義 あべ かずよし
 ● 入会日 2023年1月16日
 ● 職業分類 不動産業
 ● 勤務先 浅沼産業 (株)

● 会津分区 会津若松南 RC
萩生田 学 はぎうだ まなぶ
 ● 入会日 2023年1月16日
 ● 職業分類 電気設備工事業
 ● 勤務先 (株) 萩生田電設

● いわき分区 いわき小名浜 RC
櫛田 剛一 くしだ こういち
 ● 入会日 2023年1月10日
 ● 職業分類 自動車販売
 ● 勤務先 カーネットいわき

● いわき分区 いわき平東 RC
藤田恵美子 ふじた えみこ
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 保険業
 ● 勤務先 大同生命保険(株)郡山支店いわき営業所

● 県北第二分区 福島東 RC
宮崎 紀孝 みやざき のりたか
 ● 入会日 2023年1月13日
 ● 職業分類 会計事務所
 ● 勤務先 (有) 宮崎会計事務所

● 県北第二分区 福島しんたつ RC
芳賀 修治 はが しゅうじ
 ● 入会日 2023年1月10日
 ● 職業分類 建具工事業
 ● 勤務先 フルテック 株式会社

● 相双分区 浪江 RC
後藤 烈史 ごとう つよし
 ● 入会日 2022年1月12日
 ● 職業分類 社会保険労務士
 ● 勤務先 後藤烈史社会保険労務士事務所

● 県中分区 本宮 RC
野尻 直之 のじり なおゆき
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 OA機器・事務用品販売業
 ● 勤務先 株式会社 ノジリ

● 県中分区 本宮 RC
大内 貴志 おおうち たかし
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 管工事業
 ● 勤務先 有限会社 本宮設備

● 県中分区 本宮 RC
菅野 健治 かんの けんじ
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 建築業
 ● 勤務先 有限会社 菅野工務店

● 県中分区 本宮 RC
榎原 昌寛 えのきばら しょうかん
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 仏教 (住職)
 ● 勤務先 高木寺

● 県中分区 本宮 RC
窪田 郁子 くぼた いくこ
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 製菓業 (自営業)
 ● 勤務先 (有) 菓匠 きねや

● 県中分区 本宮 RC
飯田 伸 いいた しのぶ
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 英語教師
 ● 勤務先 ロンドン英学院

● 県中分区 本宮 RC
佐藤 教順 さとう きょうじゅん
 ● 入会日 2023年1月25日
 ● 職業分類 仏教 (住職)
 ● 勤務先 宗教法人 岩角寺

● 県中分区 船引 RC
渡邊 高典 わたなべ たかのり
 ● 入会日 2023年1月11日
 ● 職業分類 事務機器・事務用品販売
 ● 勤務先 株式会社 高善 田村営業所

物故会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

● 郡山 RC
滝田金之介 たきた きのすけ
 2023年1月12日 ご逝去
 享年 91歳
 ローターリー歴 56年

● いわき小名浜 RC
中山 元二 なかやま もとじ
 2023年1月29日 ご逝去
 享年 92歳
 ローターリー歴 41年



1月会員数報告と My ROTARY 登録率・生年月日登録率

※2月17日現在

分 区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	前月未会員数 (内女性)	1日付け入会者数 (内女性)	2日～月末入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月未会員数 (内女性)	例会 回数	My ROTARY 登録率※	生年月日 登録率※
中 央 分 区	郡 山	97 (0)	103 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	102 (0)	4	26.47 %	38.00 %
	郡山西	40 (0)	41 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (0)	3	70.73 %	17.07 %
	郡山東	31 (2)	31 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	31 (2)	2	87.10 %	61.29 %
	郡山南	90 (13)	88 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	88 (13)	4	75.00 %	100.00 %
	郡山北	39 (0)	41 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (1)	3	53.66 %	21.95 %
	郡山西北	42 (2)	43 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	43 (2)	3	27.91 %	13.95 %
	郡山安積	56 (3)	53 (1)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	53 (2)	3	24.53 %	20.93 %
	郡山アーバン	29 (14)	29 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (14)	3	72.41 %	34.48 %
	郡山コスモス	17 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	2	100.00 %	64.71 %
福島グローバル	17 (2)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	2	68.75 %	93.75 %	
中央分区分小計		458 (38)	462 (37)	0 (0)	1 (1)	2 (0)	461 (38)	29	60.66 %	46.61 %
県 北 第 一 分 区	福 島	95 (7)	99 (6)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	99 (6)	3	98.99 %	100.00 %
	二本松	39 (4)	40 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (4)	2	72.50 %	97.50 %
	福島南	65 (6)	66 (6)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	67 (7)	3	74.63 %	100.00 %
	福島西	24 (1)	24 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (1)	4	83.33 %	100.00 %
	福島中央	47 (3)	47 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	48 (4)	4	93.75 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	35 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (5)	2	100.00 %	100.00 %
	福島21	41 (4)	42 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (4)	4	85.71 %	100.00 %
県北第一分区分小計		346 (30)	353 (29)	0 (0)	3 (2)	1 (0)	355 (31)	22	86.99 %	99.64 %
会 津 分 区	会津若松	51 (0)	51 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (0)	4	39.22 %	96.08 %
	喜多方	43 (0)	47 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	48 (2)	4	85.42 %	100.00 %
	会津若松西	25 (1)	25 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (2)	3	72.00 %	96.00 %
	猪苗代	27 (4)	26 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (4)	3	80.77 %	88.46 %
	会津坂下	33 (0)	33 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	33 (0)	4	66.67 %	21.21 %
	田 島	34 (0)	35 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	36 (0)	2	63.89 %	75.00 %
	会津若松南	14 (1)	16 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	18 (1)	2	33.33 %	100.00 %
	会津若松城南	24 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	3	45.83 %	100.00 %
	喜多方中央	30 (1)	30 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	30 (1)	3	100.00 %	100.00 %
会津若松中央	19 (6)	21 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (6)	4	85.71 %	100.00 %	
会津分区分小計		300 (13)	308 (16)	0 (0)	4 (0)	0 (0)	312 (16)	32	67.28 %	87.68 %
い わ き 分 区	いわき平	49 (0)	52 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	52 (0)	3	29.41 %	100.00 %
	いわき小名浜	71 (0)	71 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	71 (0)	3	18.31 %	98.59 %
	いわき勿来	36 (0)	36 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	36 (0)	4	36.11 %	97.22 %
	いわき内郷	25 (3)	21 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (3)	3	23.81 %	57.14 %
	いわき常磐	15 (0)	15 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (0)	2	46.67 %	33.33 %
	いわき平東	38 (3)	43 (3)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	44 (4)	4	79.55 %	88.64 %
	いわき四倉	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0	50.00 %	100.00 %
	いわき平中央	28 (4)	27 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (6)	3	29.63 %	92.59 %
	いわき桜	10 (10)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	3	90.00 %	100.00 %
いわき分区分小計		274 (20)	277 (22)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	278 (23)	25	44.83 %	85.28 %
県 北 第 二 分 区	飯 坂	39 (5)	39 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	39 (5)	4	100.00 %	100.00 %
	福島北	50 (1)	51 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (1)	4	100.00 %	100.00 %
	保 原	28 (3)	29 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (3)	3	55.17 %	100.00 %
	福島東	36 (3)	37 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	38 (3)	3	78.95 %	100.00 %
	梁 川	17 (3)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	4	75.00 %	100.00 %
	川 俣	35 (2)	35 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	34 (2)	3	64.71 %	100.00 %
	福島しんたつ	15 (2)	16 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	17 (2)	2	47.06 %	100.00 %
県北第二分区分小計		220 (19)	223 (18)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	224 (18)	23	74.41 %	100.00 %
県 南 分 区	白 河	40 (2)	40 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	39 (2)	4	30.77 %	17.95 %
	須賀川	43 (1)	46 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (1)	3	15.56 %	89.13 %
	東白川	12 (0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	4	45.45 %	100.00 %
	石 川	34 (1)	35 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	35 (1)	3	31.43 %	100.00 %
	矢 吹	11 (1)	11 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	3	27.27 %	45.45 %
	白河西	65 (6)	66 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	66 (6)	4	100.00 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	12 (0)	12 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (0)	3	50.00 %	91.67 %
	白河南	15 (0)	14 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)	3	14.29 %	0.00 %
県南分区分小計		232 (11)	235 (11)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	234 (11)	27	39.35 %	68.03 %
相 双 分 区	原 町	21 (0)	25 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (1)	2	16.00 %	96.00 %
	相 馬	29 (4)	29 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	28 (4)	3	28.57 %	100.00 %
	浪 江	42 (2)	46 (3)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	47 (3)	2	29.71 %	100.00 %
	富 岡	38 (5)	46 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (7)	2	28.00 %	100.00 %
	原町中央	40 (6)	42 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (6)	2	19.05 %	100.00 %
	南相馬	22 (2)	21 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (2)	3	85.71 %	100.00 %
相双分区分小計		192 (19)	209 (23)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	209 (23)	14	34.51 %	99.33 %
県 中 分 区	本 宮	34 (8)	35 (8)	0 (0)	7 (1)	0 (0)	42 (9)	3	28.57 %	100.00 %
	三 春	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	2	69.57 %	91.30 %
	常 葉	25 (0)	25 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	24 (0)	2	50.00 %	100.00 %
	滝 根	2 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	2	66.67 %	100.00 %
	船 引	46 (3)	47 (3)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	46 (3)	3	68.09 %	100.00 %
	小 野	19 (1)	17 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (1)	3	23.53 %	52.94 %
県中分区分小計		149 (14)	150 (14)	0 (0)	8 (1)	3 (0)	155 (15)	15	51.07 %	90.71 %
2530地区合計		2,171 (164)	2,217 (170)	0 (0)	21 (5)	10 (0)	2,228 (175)	187	57.39 %	84.66 %

※7/1現在会員数には、7/1入会者7名を含んでいます。



道徳律

副委員長 **古俣 猛**
(福島RC)

シェルダンの考え方がロータリーの職業奉仕の理念として確立し、それをロータリアン自身の事業所に適用しようとして作られたのが、道徳律です。アイオワ州シューシティ・クラブのロバート・ハントが中心になって、その具体的事項を全国のロータリアンから募集したところ、数百にもものぼる提案が集まりました。しかし、彼は個人的事情のため、その役割を同じクラブの会員であるパーキンスに譲りました。パーキンスはシューシティ・クラブの友人数名を委員に任命しました。その中には、かつてシェルドン・ビジネス・スクールの学生であったジョン・ナトソンも含まれていました。

彼らはそれを500語の文章にまとめあげ、1914年のヒューストン大会に提出しましたが、この大会ではこの道徳律をすべてのロータリアンに送って、研究することが決まり、1915年のサンフランシスコ大会においてほぼ原文のまま採択されて、公式な道徳律となりました。職業人としての実践道徳の指針とされましたが、全世界の有用性に関し意見の一

致を欠くとの理由でRIは1927年に改訂、1928年に綱領に重きをおくことに改め1951年、理事会は配布はするものの、手続要覧に掲載中止、1977年規定審議会では道徳律に代わるべき適当な文章を検討するとした。1980年規定審議会でも道徳律に関するRI細則は削除されその後、その時の決議に基づく代案が1989年のシンガポールでの規定審議会に出された「職業宣言」です。

1915年に採用された「道徳律」この職業倫理基準は、我々の共通な人間性に基づく思いやりを心に留めるものです。職業上の取引や野望や諸関係は、常に社会の一員として自分が直面するすべての責任において、先ず最初に考えなくてはならないことは、その双方を終えたときに始めて果たされる責任と義務を満たすことです。人間の理念と業績の水準をそれに気づいたときよりも、少しでも高めなければならないし、このことを考えることこそ、ロータリアンとしての義務であります。この道徳律は、今の世にある保守派・進歩派の論争、その何れにも与するものではありません。保守か進歩か、ただ単にその様な論争をして何になるでしょう。この道徳律が求めるものは一価値—それがもたらす有用性ということなのです。保守か進歩か、そんなことには関わりなく道徳律の有用ということが、これを起草した人々の意図なのです。この有用性によって道徳律は存立し、それある限りその存在意義は失われません。

ロータリー百科事典 炉辺談話 (415)




ロータリー国際大会2023

2023年5月27日(土) ~ 31日(水)
オーストラリア/メルボルン

問合せ先

日洋航空株式会社 TEL 03-5774-5781
<http://www.nichiyo-air.co.jp/schedule/rotary/index.html>

株式会社トラベリオ TEL 03-6264-3405
<https://travelio.jp/rotary/>



● 公共イメージIT委員会からのお願い ●

友人や知人の方にロータリーを紹介しましょう♪
スマホのカメラでQRコードを読み取ってください




Rotary
ろーたリー
ってなんだろ?
一般向けサイト



Facebook ページ

今月の表紙紹介

写真提供：
(一社) 喜多方観光物産協会



喜多方市下柴地区の彼岸獅子舞は安土桃山時代の1574年に始まり、会津彼岸獅子舞発祥として知られております。病気を追い払うため、毎年春のお彼岸に市内各地を回り、彼岸獅子とともに春が訪れます。(福島県無形民俗文化財)